

夏救助服仕様書

この仕様書は、広島市消防局（以下「当局」という。）が発注する夏救助服について定める。

総 則

- 1 受注者は、契約後すみやかに製作工程表を当局に提示し、承認を受けること。
- 2 縫製前に、生地見本及び当局指定の品質証明書を当局に提示し、承認を受けること。
- 3 量産にかかる前に製作見本を当局に提出し、承認を受けること。その際、手直しが必要な場合は、指定日時までに手直しを行い、再度当局の承認を受けること。
- 4 製品は、1着ごとに良質の袋に入れ、サイズ、氏名等が容易に確認できるようにすること。
- 5 納入場所 消防局職員課ほか8署
- 6 納入期限 令和9年2月19日（金）
- 7 数 量 上 衣 50着
下 衣 46着
- 8 サイズ別数量、各納入場所への納入数量及び個人名は、別途指示するので、受注者は契約後直ちに担当課（消防局職員課 TEL 082-546-3427 担当：高橋）に連絡すること。
- 9 サイズはサイズ表を基本とするが、当該サイズ表に該当しない者については、別寸とする。
なお、詳細にあつては別途協議のうえ決定するものとする。
- 10 本仕様書に関し疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、直ちに当局担当課と協議のうえ決定するものとする。

仕 様

主要素材

- | | |
|----------|------------------------------|
| 1 生地名 | ユニチカ〈N40660〉又は ニッケ〈HR111〉 |
| 混紡率 | 芳香族ポリアミド 99.0% |
| | 静電糸 1.0% |
| 糸番手 | 40／2×40／2 |
| 2 色 相 | オレンジ（当局指定色） |
| 3 芯 地 | テترون〈SP1000〉 |
| | 使用箇所：衿、カフス |
| 4 ファスナー | 同系色のものを使用〈YKK〉 |
| | 使用箇所：前立て部分、胸ポケット
袖口、ズボン前身 |
| 5 面ファスナー | オレンジ |
| | 使用箇所：衿綴じ部分、右胸部分、左胸部分 |

縫製上の基本

- | | |
|--------|--|
| 1 針 数 | 刺し縫い 3cm間・・・13針以上 |
| | その他全般 3cm間・・・13針以上 |
| 2 穴 | 前立天狗用 15mm |
| 3 刺し縫い | 刺し縫いは、1.5cm間隔に縦菱型2重ミシン縫いとする。
裁目以外では途中で糸を切らないこと。 |

縫製

- | | |
|---------|--|
| 1 型 式 | |
| (1) 上 衣 | 開襟シャツ型・ファスナー式
胸部左右ファスナーポケット
前後刺し縫い |
| (2) 下 衣 | 長ズボン式、両脇に風琴式アウトポケット各1個、前後全面刺し縫い |

2 縫製要領

- (1) 上 衣（図1～8及び図13参照）

ア 刺し縫い 刺し縫いは生地を斜めに縫うため伸び易く、下布より送りに遅れを生じやすいので縫製上特に留意し、上下の布にたるみが出ないように縫製すること。

強度とアクセサリを考慮し、特に正確に縫い上げること。（刺し子巾は15mmとする。）

刺し縫い部分は、前後共布二枚重ねとする。

イ 前立て オープンファスナーを衿先まで付ける。

ウ 階級章台座 右ポケット中央上部 1.5 cm 上に縦 2.5 cm、横 4 cm の面ファスナー（ループ面）を縫着する。

エ 片 布 左ポケットの裏側の身頃に端ミシンでつける。

オ 胸ポケット 所定の位置に口巾 14 cm、深さ 16 cm のファスナー付きの切りポケットを両胸につける

カ 肩 章 根元の中 5 cm とし、端を袖つけの縫目に縫込み、根元から 5 cm 剣先によった部分で本体に縫いつけ、警笛下げ金具を留める様な穴をもうける。

キ 袖・カフス 袖は一枚袖とし、袖口に長さ 16 cm のつまみ革付ファスナーを取り付け刺し縫いの肘当てをつける。

カフス巾 6.5 cm、袖口に深さ 1.5 cm のヒダを 2 本外向きにとる。
下端 10 cm 両端 9 cm の三角形の水かきを入れる。

長さ 11 cm の通気口を袖付けにそって作り、同色メッシュのマチをいれる。

ク 衿 衿は開襟衿仕立とする。衿巾は中央で 9 cm、衿先巾で 8 cm、周囲は地縫い返し端飾りミシン縫いとする。

山刺し 24 本、腰刺し 5 本刺しとする。

ケ 後身頃 1 枚背、刺し子背あてをつける。

（背当ての長さは脇下 6 cm までとする。）

ノーフォーク付

コ 背面表示布 縦 10 センチ×横 34 cm に仕上げた生地（表地と同生地）に「広島市消防局」丸ゴシック・1 文字縦 6 cm×横 5 cm の紺色転写プリント（着用及び洗濯等に十分耐える転写プリントとする）を入れた生地を、台えりの下端から 12 cm 下がった位置に縫い付ける。縫い付ける際、ノーフォークの機能に支障のないように縫い付けること。

サ 肩合わせ インター合わせとし、0.6 cm の飾りミシンかけとする。

シ 裾 巾 2 cm の三つ折り縫い。

ス その他 刺し縫いが左右続模様となるよう注意して縫い上げること。

セ ネーム 左側、胸ポケットの上にネーム（広島市消防局救助隊）及び個人名を刺繍する。（個人名については別途指示）

ソ 名札台座 左胸ポケット上部中央から約 1.5 cm の位置に、名札用台座として縦 3.5 cm×横 8.0 cm の面ファスナー（ループ面）を縫着する。

（2） 下 衣（図 9～12 参照）

ア 前身頃 前身頃前面に上端より 79 cm（平均値）の刺し縫いをする。

イ 後身頃 後身頃前面に前身頃と同寸の刺し縫いをする。

ウ 身頃合わせ 相引縫いはインター合わせ、端ミシンステッチ
尻合わせ及び大股は二重環縫いとする。

エ 脇ポケット 左右脇に風琴式アウトポケット各 1 個を縫付ける。（つまみ革付ファスナー式）

取付位置はポケット上端部を股下にあわせる。

ポケットの大きさは口巾17cm、深さ20cmとし、アコーディオンは底部と後身頃にとりアコーディオン巾は4cmとする。

右ポケットには巾8cm深さ11.5cmのカラビナ入れをつける。

オ ベルト通し 共地使用のベルト通し巾10cm、長さ7cm（通し部分）のものを5本つける。

カ 腰 裏 マーベルト スベリ留付 ベルト巾7cm

キ 片 布 右ポケット裏のズボン内側に付ける。

ク 前 立 オーバーをかけファスナーと共に右前身頃に縫付ける。

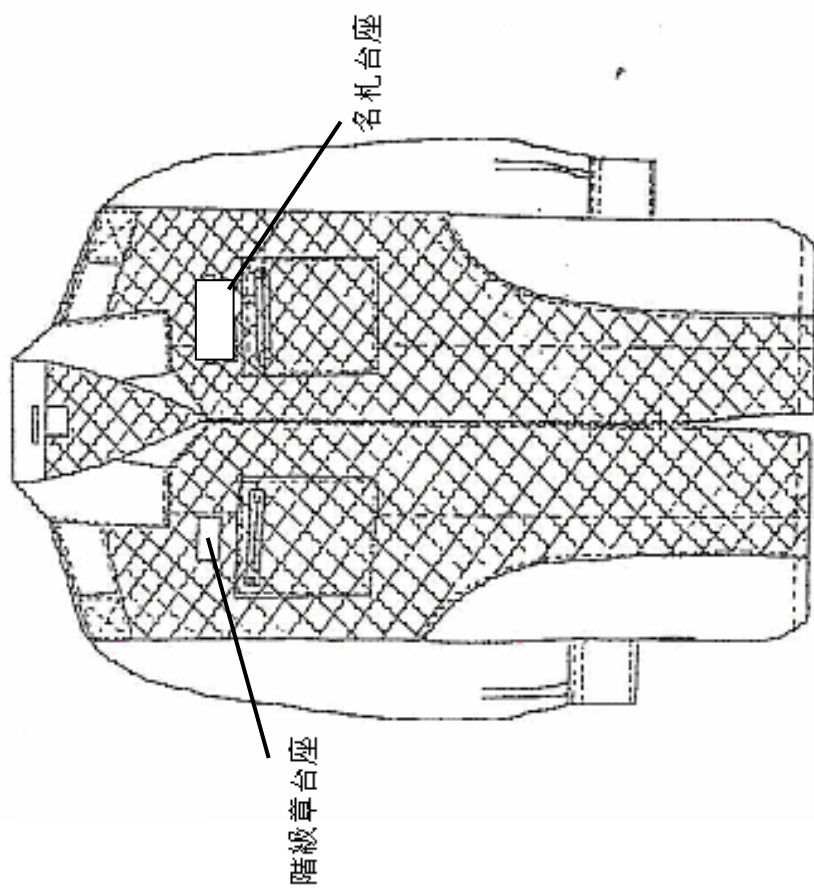
ケ 天 狗 地縫い返し縫付け側にオーバー前門で止める。

ファスナーと共に右前身頃に縫付ける。

コ 棒シック 巾2cm 長さ14cm

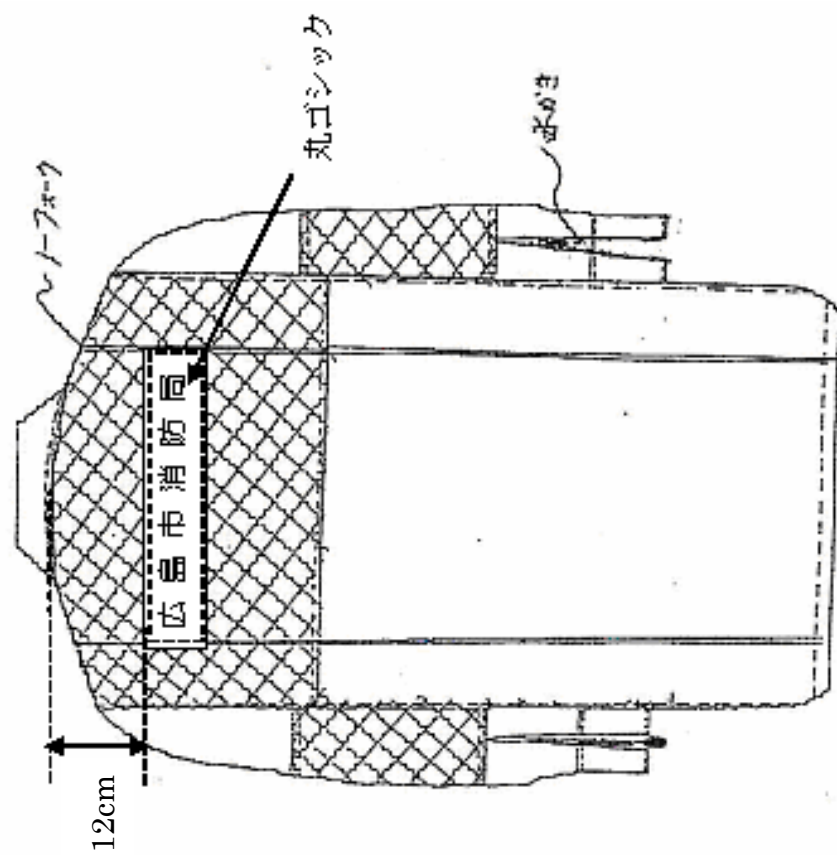
サ 裾 シングル巾3cmの三つ折り縫中に平ゴムを入れる。

図 1



前立

図 2



後身

図 3

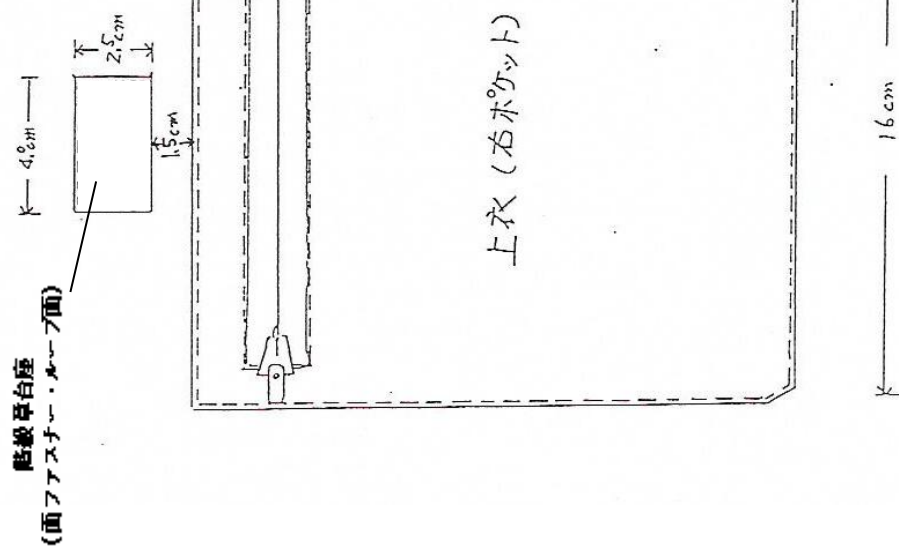


図 4

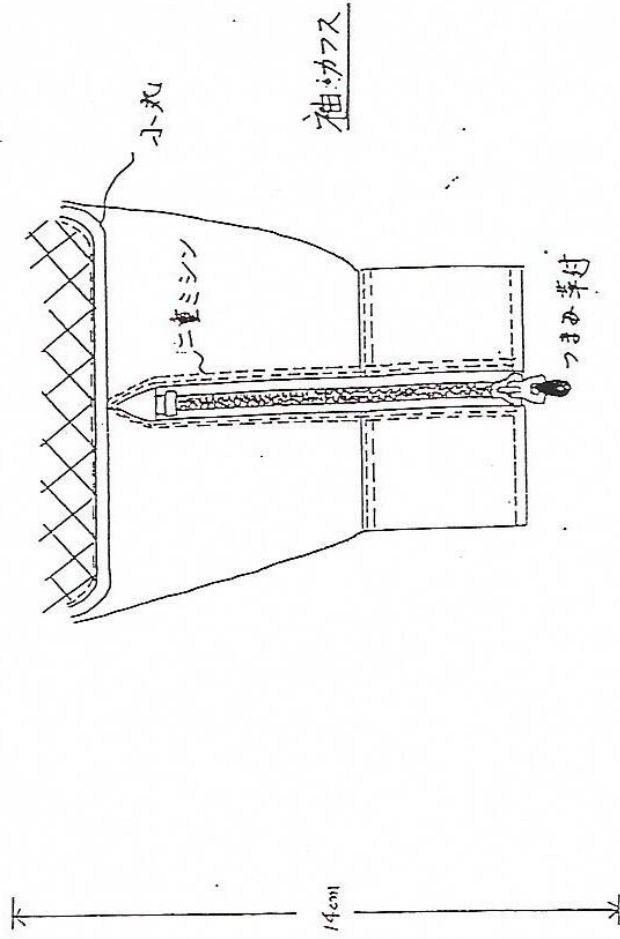


図 5

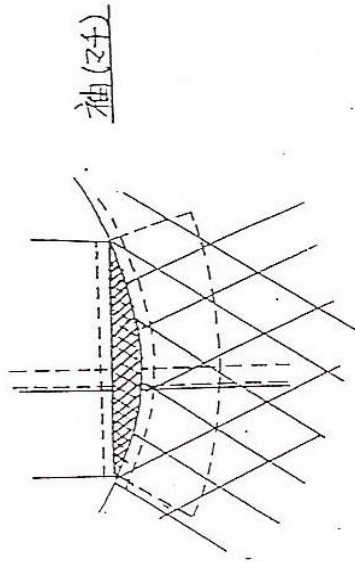


図 7

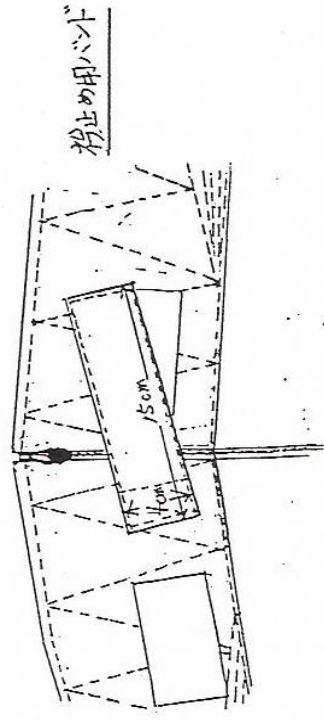


図 6

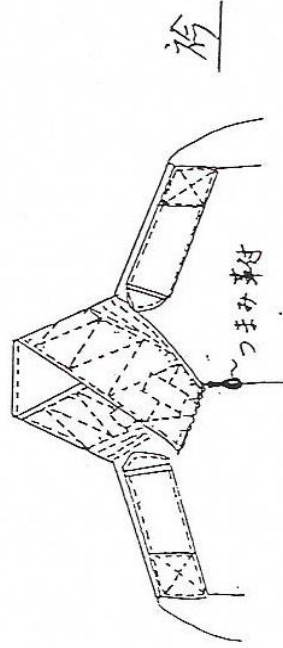


図 8

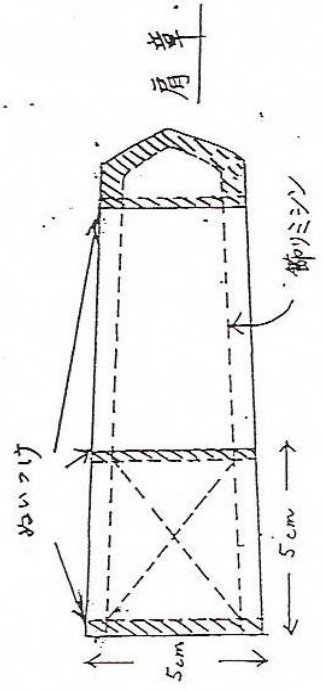


图 9

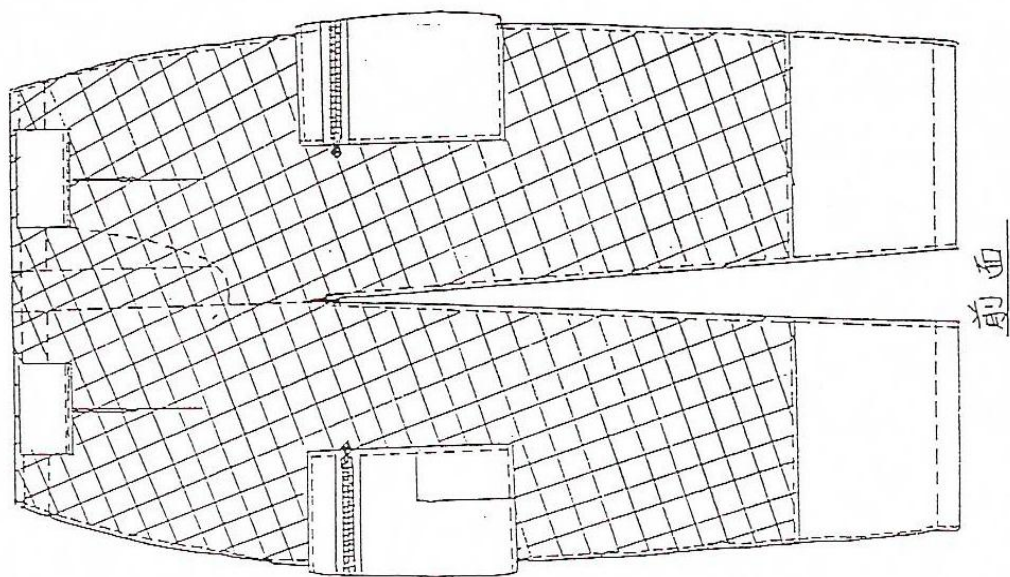
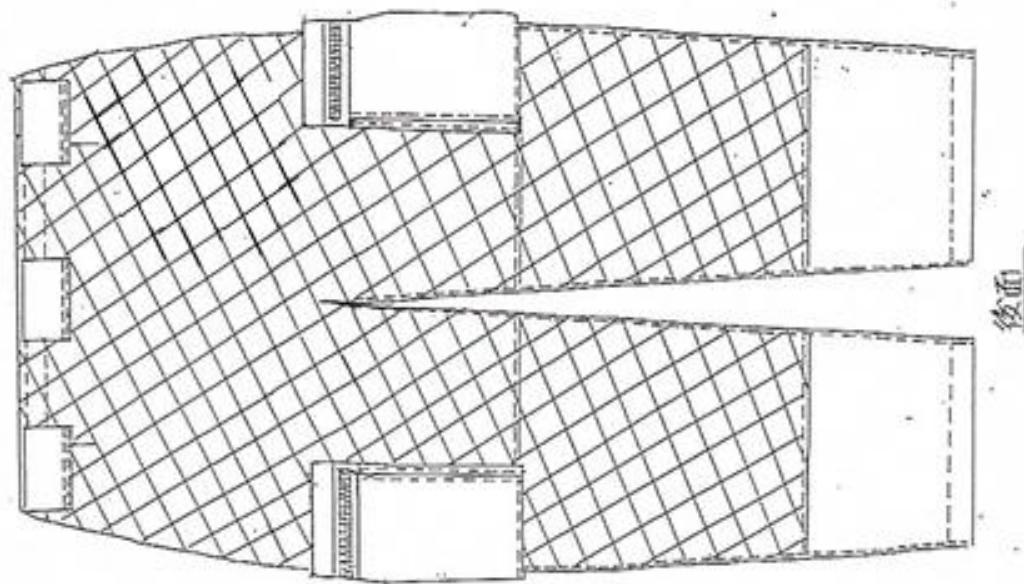
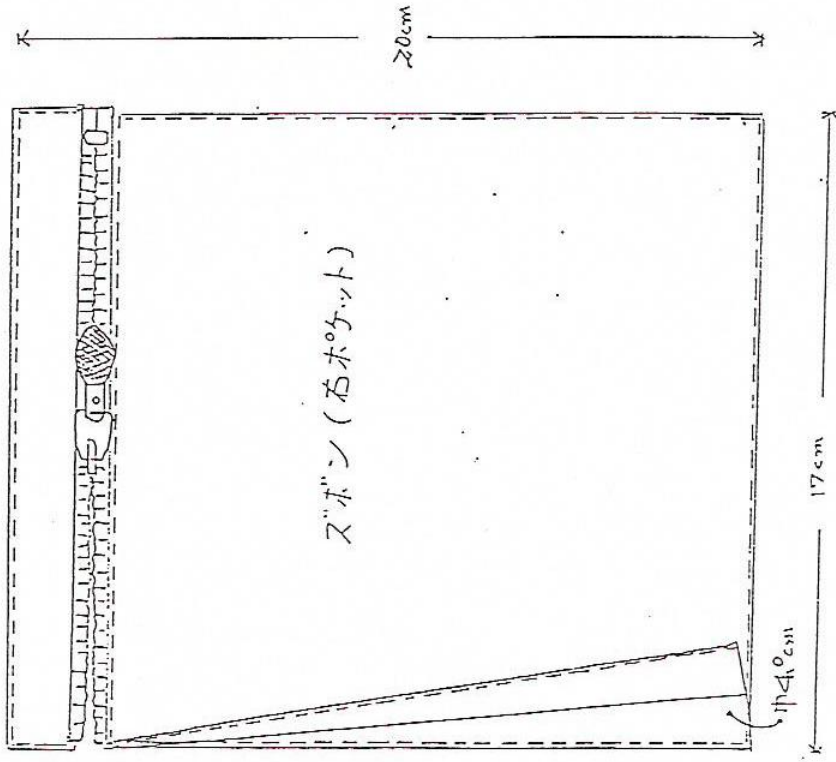


图 10





隣シ・天狗

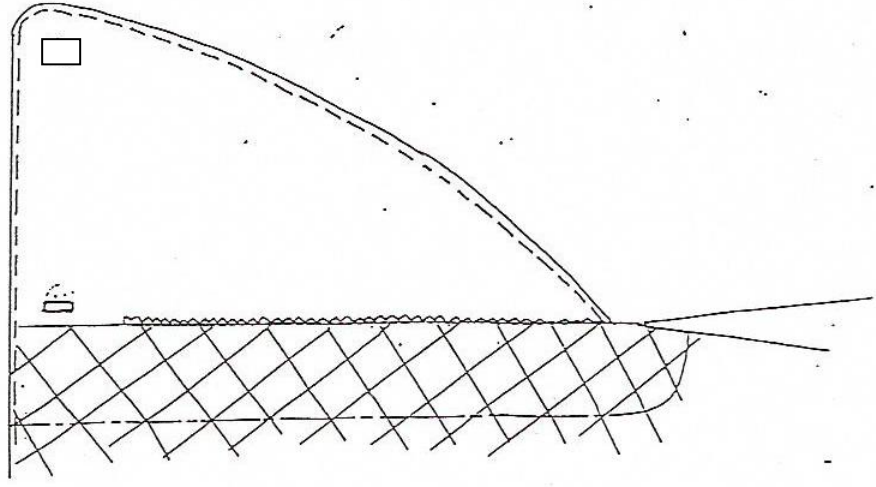
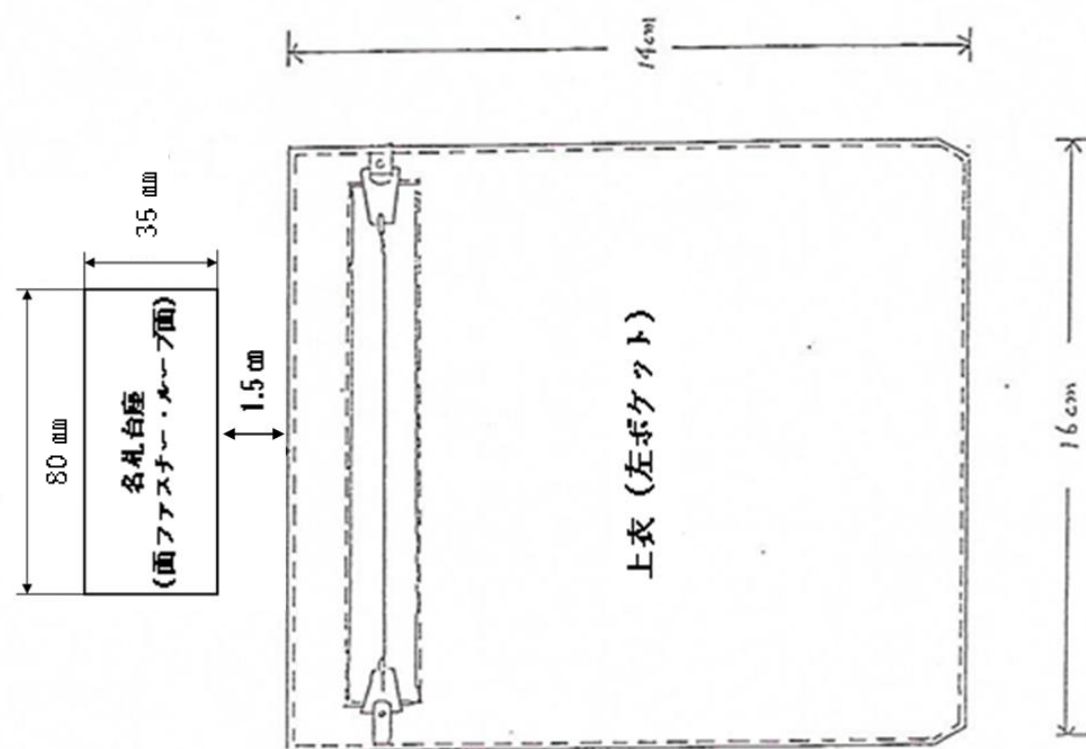
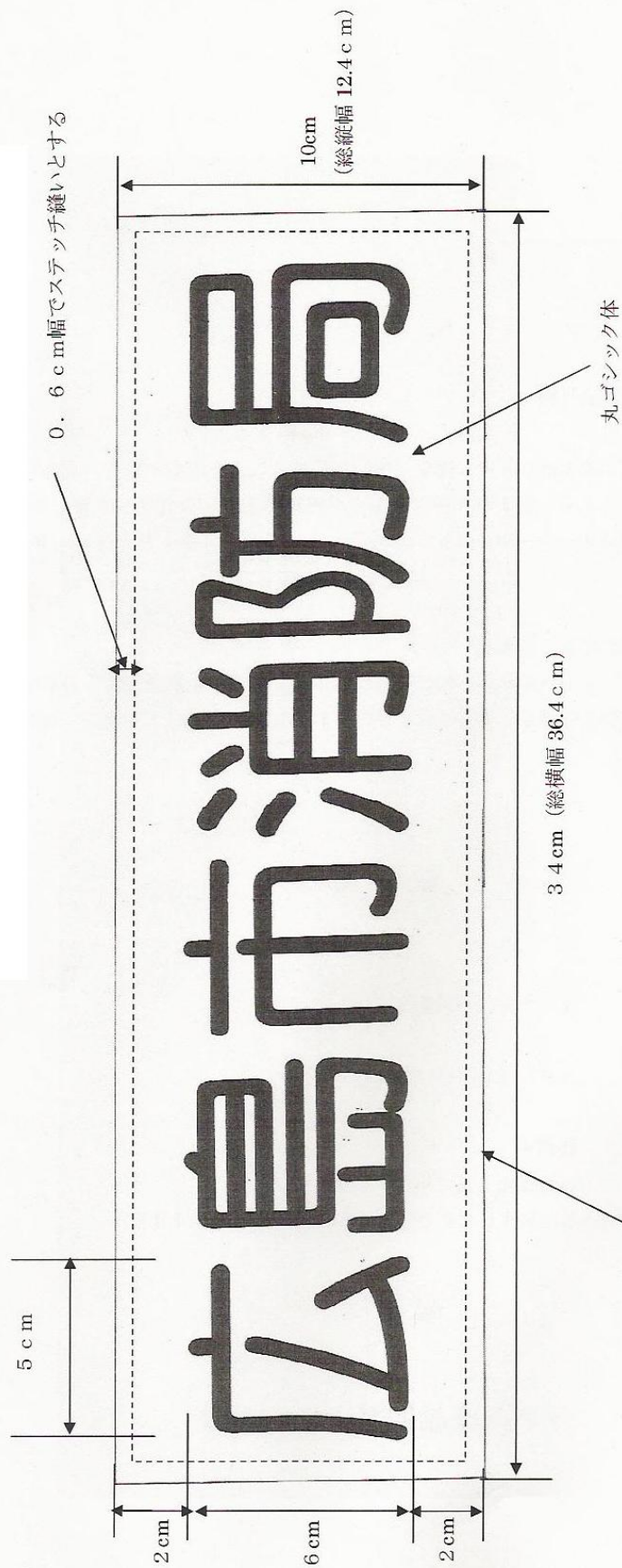


図 13



背面表示布

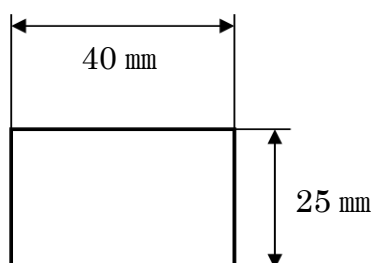


布端はオーバーロックかがりとし、1.2 cmで折り返すこと

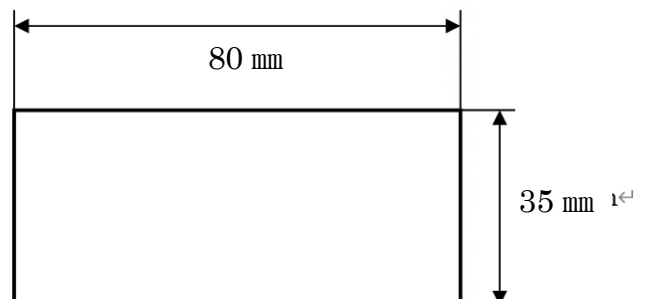
片布

広島市消防局			
血液型	氏名		調整年月日
			年 月 日

階級章台座



名札台座



夏救助服サイズ表

単位：c m仕上がり

	上 衣				下 衣		
	胸 囲	肩 巾	袖 丈	着 丈	腰 廻	股 上	股 下
S	1 0 0	4 3	5 3	6 9	7 4	2 5	フリー サイズ 個人ごとの寸法を 当局より 別途指示
M	1 0 4	4 4	5 5	7 2	8 0	2 9	
L	1 0 8	4 6	5 7	7 4	8 4	2 9	
L L	1 1 2	4 8	5 9	7 6	9 0	2 9	
X L	1 1 6	5 0	6 0	7 8	9 4	3 1	
B	—				1 0 0	3 2	

冬救助服仕様書

この仕様書は、広島市消防局（以下「当局」という。）が発注する冬救助服について定める。

総 則

- 1 受注者は、契約後すみやかに製作工程表を当局に提示し、承認を受けること。
- 2 縫製前に生地見本及び品質証明書並びに試作品を当局に掲示し承認を得ること。
- 3 量産にかかる前に製作見本を当局に提出し、承認を受けること。その際、手直しが必要な場合は、指定日時までに手直しを行い、再度当局の承認を受けること。
- 4 製品は、1 着ごとに良質の袋に入れ、サイズ、氏名等が容易に確認できるようにすること。
- 5 納入場所 消防局職員課ほか8 署
- 6 納入期限 令和9年2月19日（金）
- 7 数 量 上 衣 16 着
下 衣 17 着
- 8 サイズ別数量、各納入場所への納入数量及び個人名は、別途指示するので、受注者は契約後直ちに担当課（消防局職員課 Tel 082-546-3427 担当：高橋）に連絡すること。
- 9 サイズはサイズ表を基本とするが、当該サイズ表に該当しない者については、別寸とする。
なお、詳細にあつては別途協議のうえ決定するものとする。
- 10 本仕様書に関し疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、直ちに当局担当課と協議のうえ決定するものとする。

仕 様

主要素材

- | | |
|----------|--|
| 1 生地名 | ユニチカ〈N 5 7 8 0〉又はこれと同等以上のもの |
| 混紡率 | メタ系アラミド 94.0%
パラ系アラミド 5.0%
導電性繊維系 1.0% |
| 糸番手 | 40／2（標準）×40／2（標準） |
| 2 色 相 | オレンジ（当局指定色） |
| 3 芯 地 | テترون〈SP1000〉
使用箇所：衿、カフス |
| 4 ファスナー | 同系色のものを使用〈YKK〉
使用箇所：前立て部分、胸ポケット
袖口、ズボン前身 |
| 5 面ファスナー | オレンジ
使用箇所：衿綴じ部分、右胸部分、左胸部分 |

縫製上の基本

- | | |
|-------|--|
| 1 針 数 | 刺し縫い 3cm間・・・13針以上
その他全般 3cm間・・・13針以上 |
| 2 穴 | 前立天狗用 15mm |
| 3 刺縫い | 刺し縫いは、1.5cm間隔に縦菱型2重ミシン縫いとする。
裁目以外では途中で糸を切らないこと。 |

縫製

- | | |
|---------|--|
| 1 型 式 | |
| (1) 上 衣 | 開襟シャツ型・ファスナー式
胸部左右ファスナーポケット
前後刺し縫い |
| (2) 下 衣 | 長ズボン式、両脇に風琴式アウトポケット各1個、前後全面刺し縫い |

2 縫製要領

- (1) 上 衣（図1～8及び図13参照）

ア 刺し縫い 刺し縫いは生地を斜めに縫うため伸び易く、下布より送りに遅れを生じやすいので縫製上特に留意し、上下の布にたるみが出ないように縫製すること。

強度とアクセサリを考慮し、特に正確に縫い上げること。（刺し子巾は

15mmとする。)

刺し縫い部分は、前後共布二枚重ねとする。

- イ 前立て オープンファスナーを衿先まで付ける。
- ウ 階級章台座 右ポケット中央上部1.5cm上に縦2.5cm、横4cmの面ファスナー（ループ面）を縫着する。
- エ 片布 左ポケットの裏側の身頃に端ミシンでつける。
- オ 胸ポケット 所定の位置に口巾14cm、深さ16cmのファスナー付きの切りポケットを両胸につける
- カ 肩章 根元の中5cmとし、端を袖つけの縫目に縫込み、根元から5cm剣先によった部分で本体に縫いつけ、警笛下げ金具を留める様な穴をもうける。
- キ 袖・カフス 袖は一枚袖とし、袖口に長さ16cmのつまみ革付ファスナーを取り付け刺し縫いの肘当てをつける。
カフス巾6.5cm、袖口に深さ1.5cmのヒダを2本外向きにとる。
下端10cm両端9cmの三角形の水かきを入れる。
長さ11cmの通気口を袖付けにそって作り、同色メッシュのマチをいれる。
- ク 衿 衿は開襟衿仕立とする。衿巾は中央で9cm、衿先巾で8cm、周囲は地縫い返し端飾りミシン縫いとする。
山刺し24本、腰刺し5本刺しとする。
- ケ 後身頃 1枚背、刺し子背あてをつける。
(背当ての長さは脇下6cmまでとする。)
ノーフォーク付
- コ 背面表示布 縦10センチ×横34cmに仕上げた生地（表地と同生地）に「広島市消防局」丸ゴシック・1文字縦6cm×横5cmの紺色転写プリント（着用及び洗濯等に十分耐える転写プリントとする）を入れた生地を、台えりの下端から12cm下がった位置に縫い付ける。縫い付ける際、ノーフォークの機能に支障のないように縫い付けること。
- サ 肩合わせ インター合わせとし、0.6cmの飾りミシンかけとする。
- シ 裾 巾2cmの三つ折り縫い。
- ス その他 刺し縫いが左右続模様となるよう注意して縫い上げること。
- セ ネーム 左側、胸ポケットの上にネーム（広島市消防局救助隊）及び個人名を刺繍する。（個人名については別途指示）
- ソ 名札台座 左胸ポケット上部中央から約1.5cmの位置に、名札用の台座として縦3.5cm×横8.0cmの面ファスナー（ループ面）を縫着する。

(2) 下衣 (図9～12参照)

- ア 前身頃 前身頃前面に上端より79cm（平均値）の刺し縫いをする。
- イ 後身頃 後身頃前面に前身頃と同寸の刺し縫いをする。
- ウ 身頃合わせ 相引縫いはインター合わせ、端ミシンステッチ
尻合わせ及び大股は二重環縫いとする。
- エ 脇ポケット 左右脇に風琴式アウトポケット各1個を縫付ける。（つまみ革付ファスナ

一式) 取付位置はポケット上端部を股下にあわせる。

ポケットの大きさは口巾17cm、深さ20cmとし、アコーディオンは底部と後身頃にとりアコーディオン巾は4cmとする。

右ポケットには巾8cm深さ11.5cmのカラビナ入れをつける。

オ ベルト通し 共地使用のベルト通し巾10cm、長さ7cm(通し部分)のものを5本つける。

カ 腰 裏 マーベルト スベリ留付 ベルト巾7cm

キ 片 布 右ポケット裏のズボン内側に付ける。

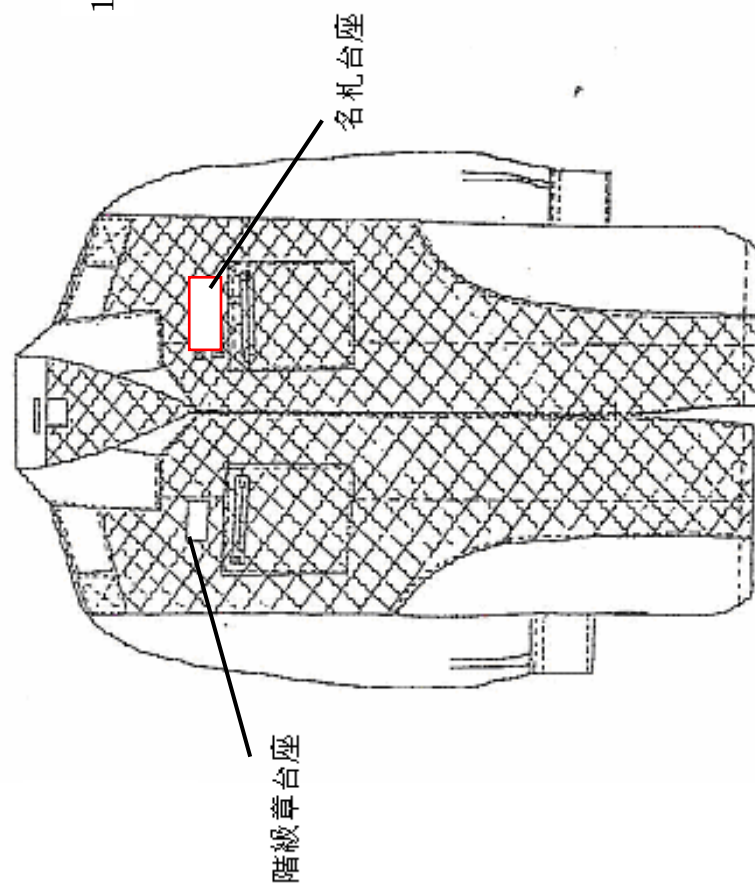
ク 前 立 オーバーをかけファスナーと共に右前身頃に縫付ける。

ケ 天 狗 地縫い返し縫付け側にオーバー前門で止める。
ファスナーと共に右前身頃に縫付ける。

コ 棒シック 巾2cm 長さ14cm

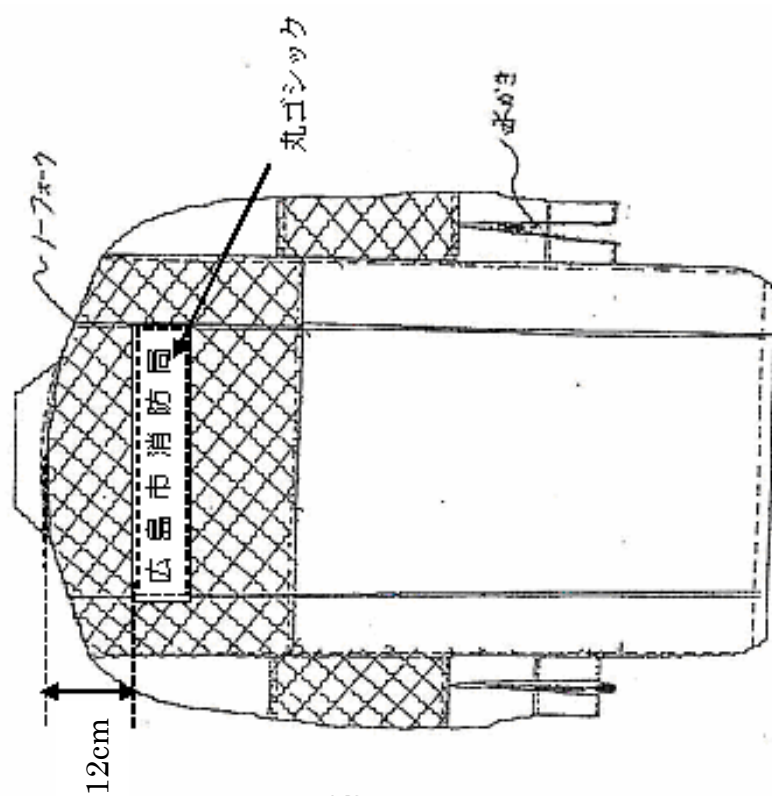
サ 裾 シングル巾3cmの三つ折り縫中に平ゴムを入れる。

図 1



前立て

図 2



後身頃

図 3

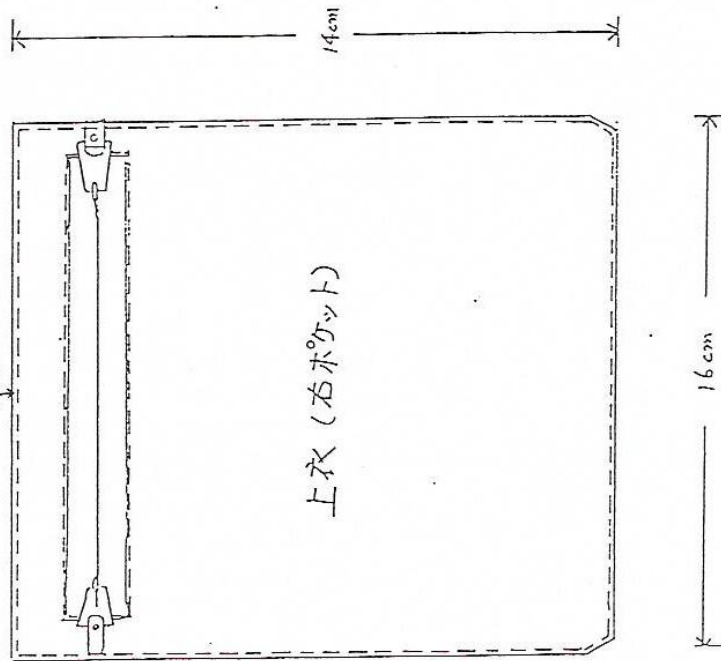
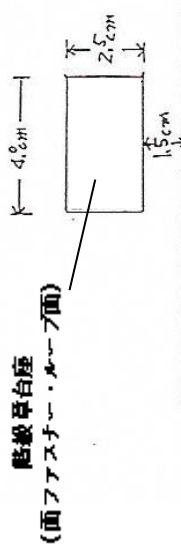


図 4

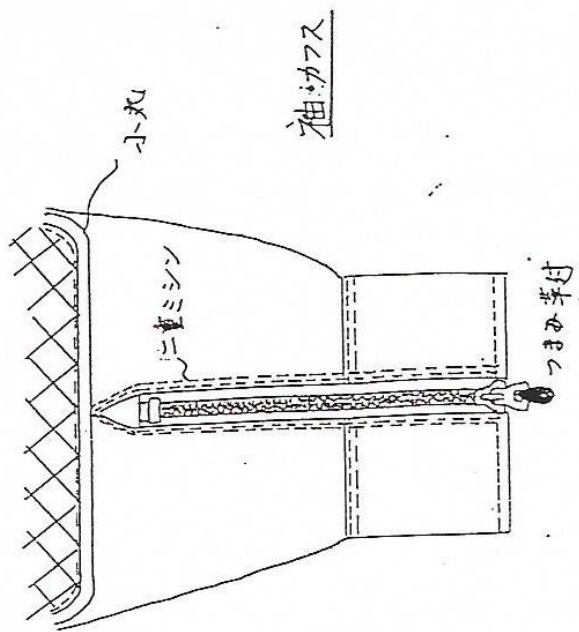


図 5

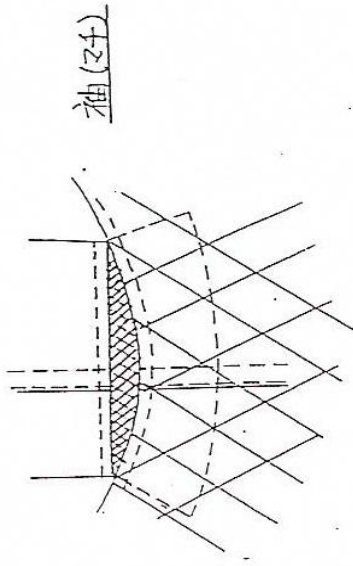


図 7

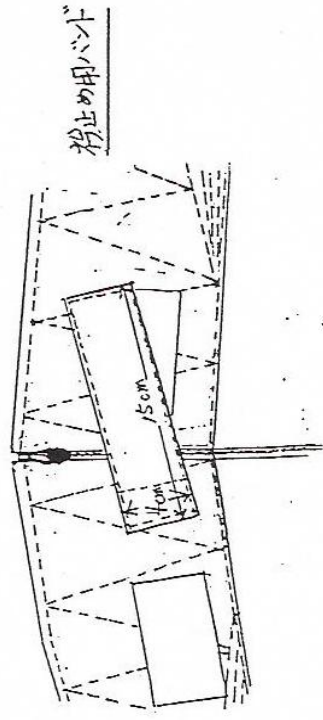


図 6

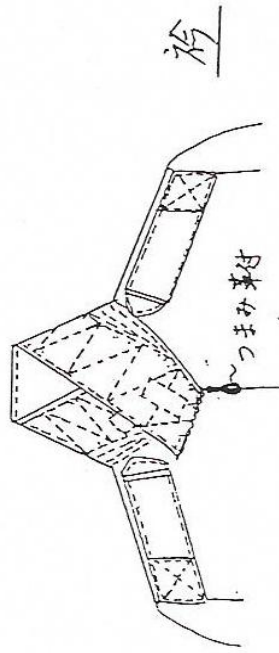


図 8

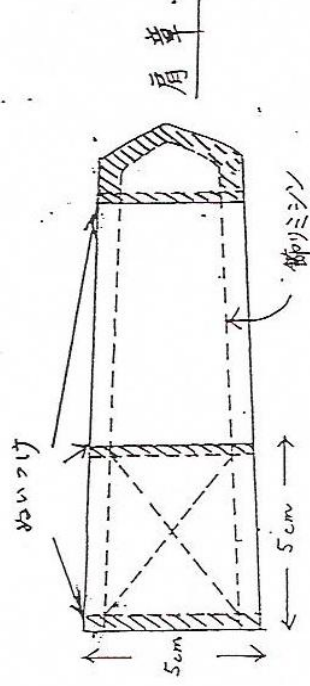
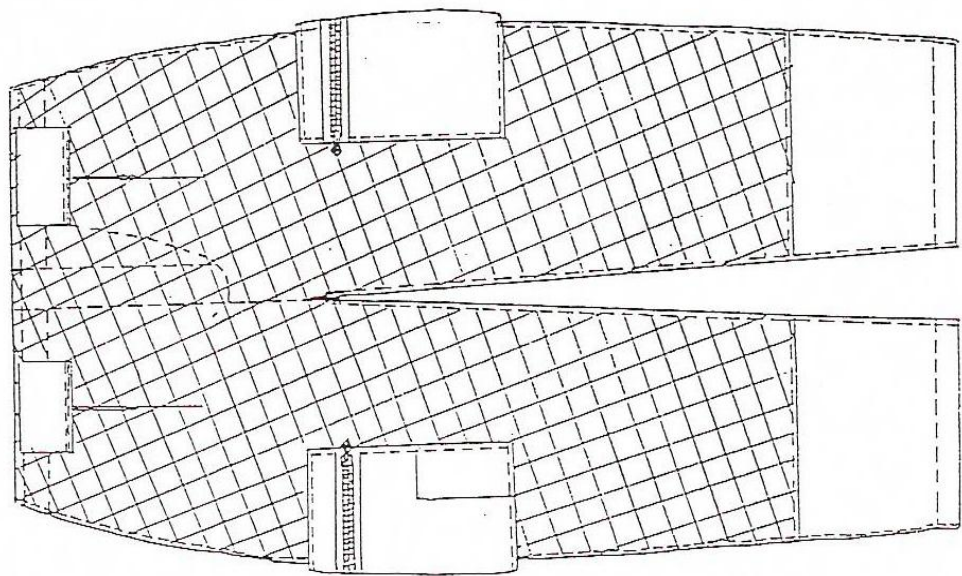
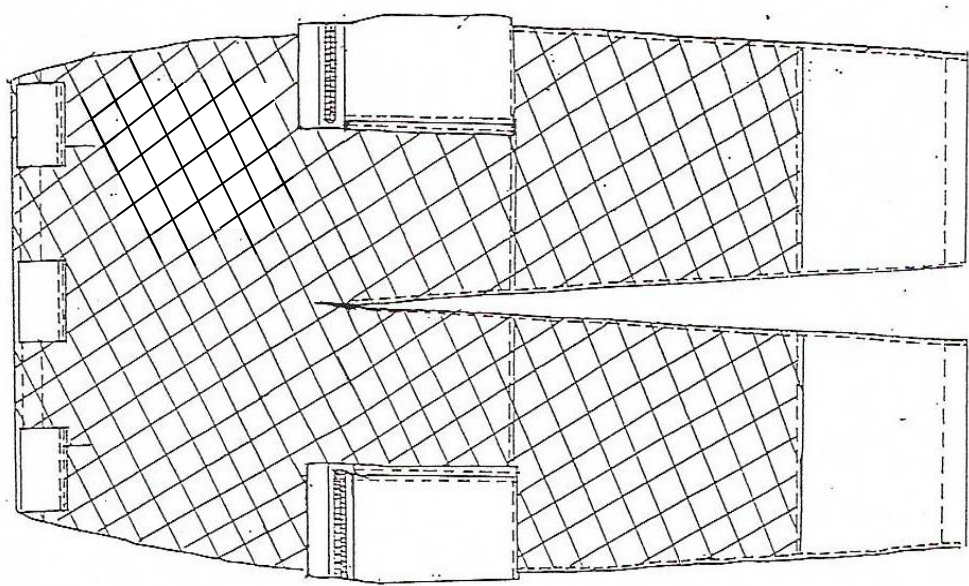


图 9

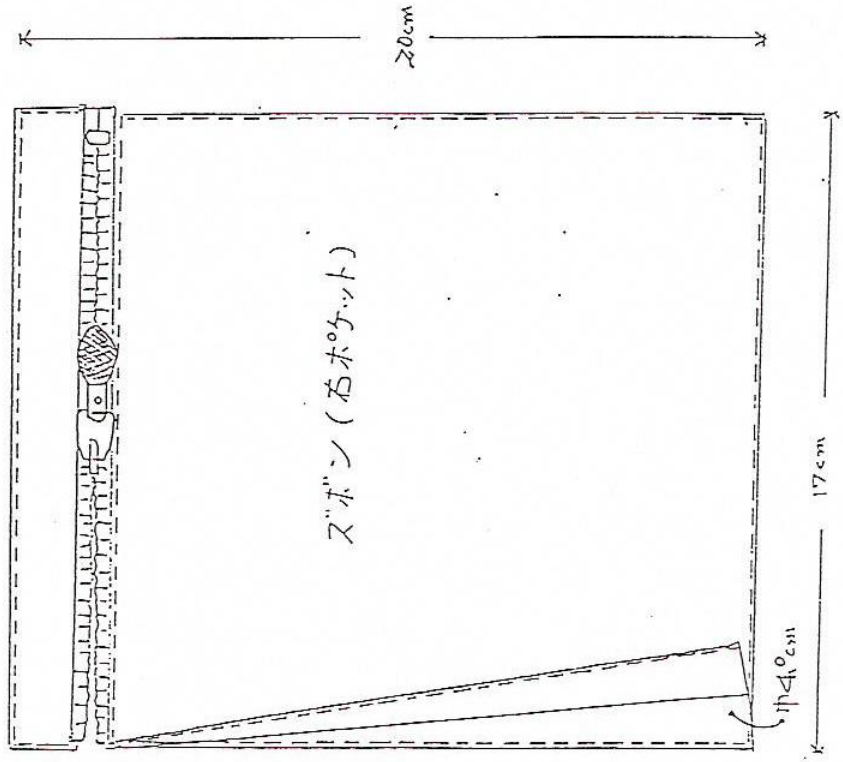


前面

图 10



後面



隣シ、天狗

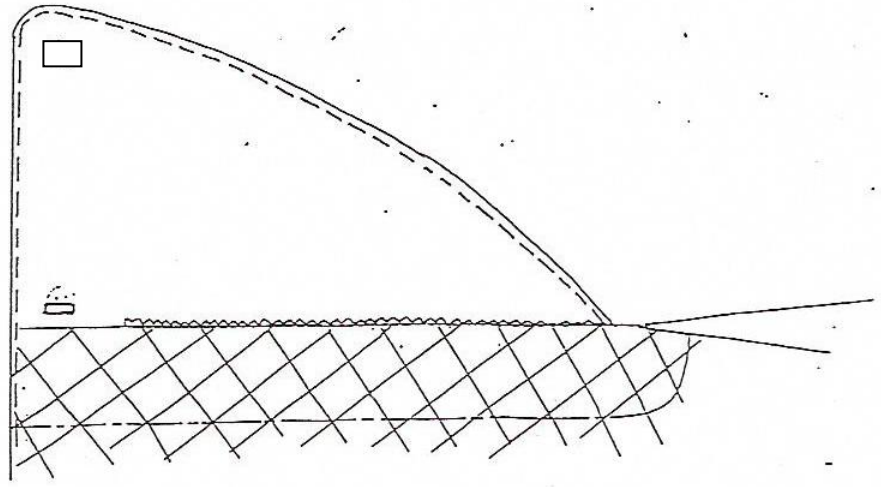
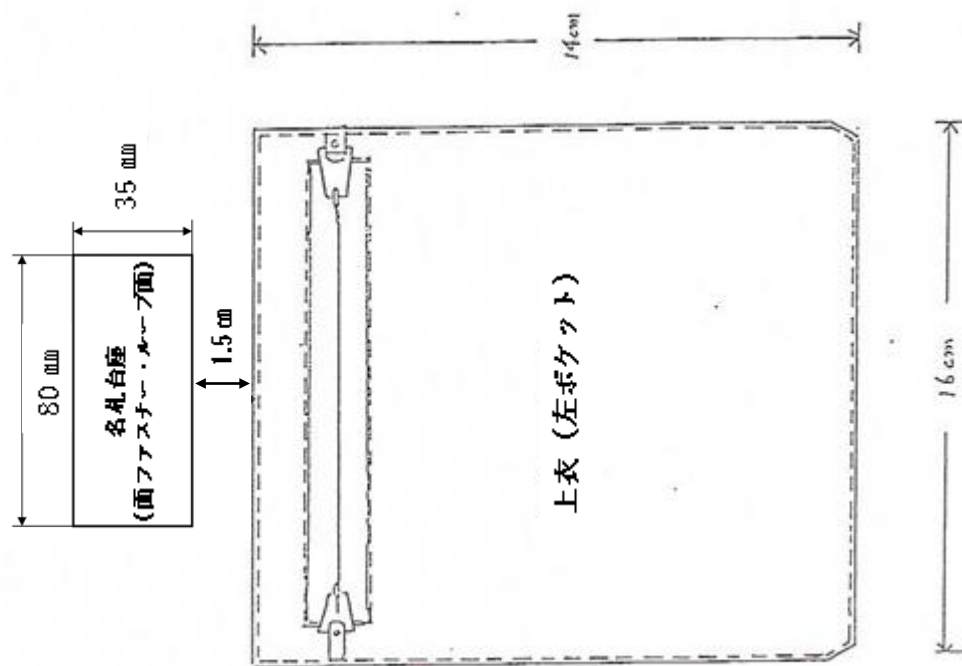
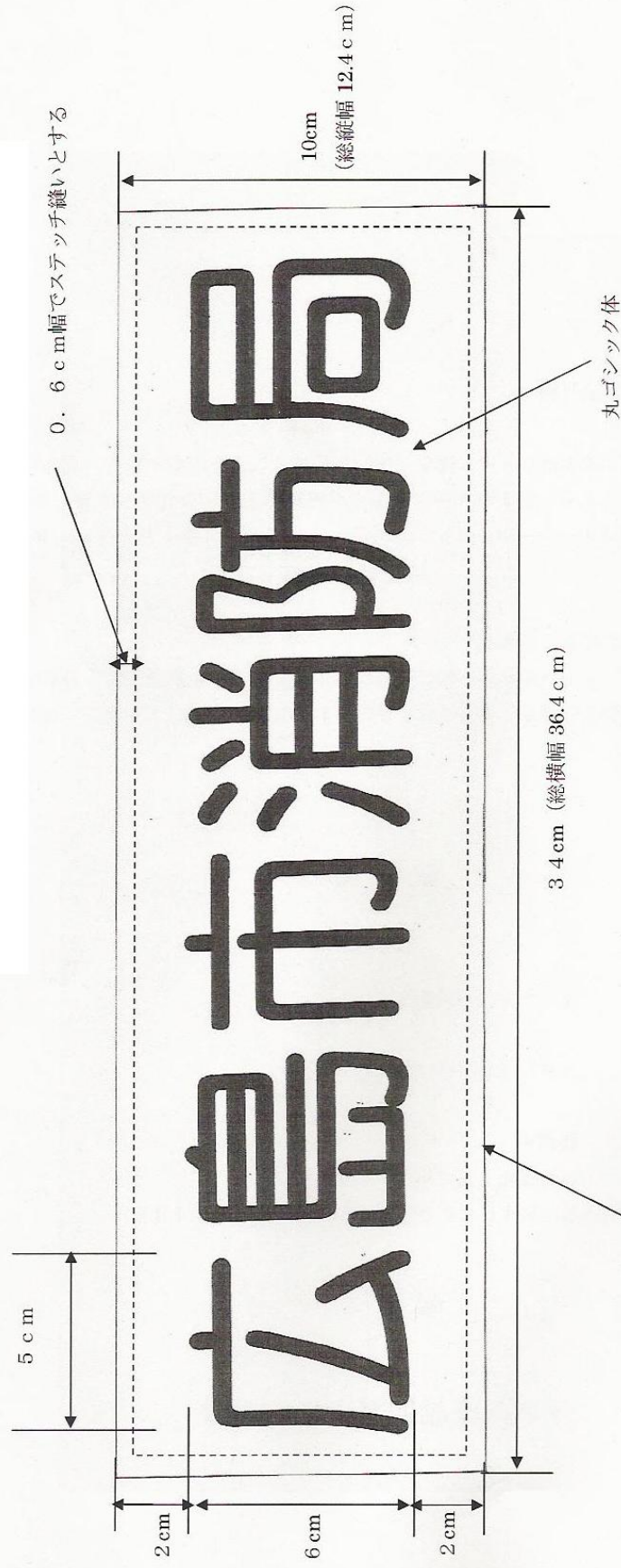


図 13



背面表示布

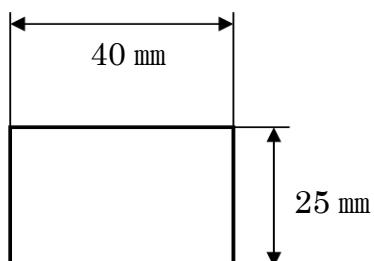


布端はオーバーロックかがりとし、1.2 cm で折り返すこと

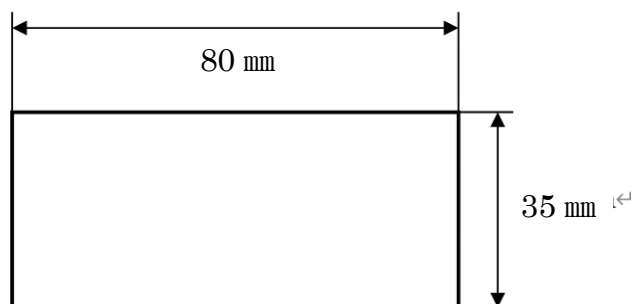
片布

広島市消防局			
血液型	氏名		調年月日 整
			年 月 日

階級章台座[←]



名札台座[←]



冬救助服サイズ表

単位：c m仕上がり

	上 衣				下 衣		
	胸 囲	肩 巾	袖 丈	着 丈	腰 廻	股 上	股 下
S	1 0 0	4 3	5 3	6 9	7 4	2 5	フリー サイズ 個人ごとの 寸法を 当局より 別途指示
M	1 0 4	4 4	5 5	7 2	8 0	2 9	
L	1 0 8	4 6	5 7	7 4	8 4	2 9	
L L	1 1 2	4 8	5 9	7 6	9 0	2 9	
X L	1 1 6	5 0	6 0	7 8	9 4	3 1	
B	—				1 0 0	3 2	